

楠木正成正行父子の桜井の別れ（絵馬の説明図）

桜井の別れの場面に、観心寺金堂・中院・三重塔と思われる建物が描かれている絵馬は全国的に珍しく、“地元ならではの民俗文化財”である。加賀田には楠木正成が軍学兵法を学んだ大江時親の邸跡がある。「正成公がこの道を通り大江時親のもとへ通っていた」と伝承されているように、加賀田の人々の楠木正成に対する思い入れは強い。室町時代から江戸時代にかけて大衆文化のサムライヒーローであり、郷土と郷土に暮らす人々を大切にされた楠木正成が、加賀田神社本殿修理竣工記念の絵馬の題材になった。このことが、楠木正成が地元で長く敬愛されてきたことを示す貴重な証しであると考えられる。

明治 15 年（1882 年）7 月奉納（同年 6 月に本殿の屋根葺替えと彩色修理が竣工した）
本殿彩色を手掛けた絵師大西安太郎が制作したと考えられる



明治十五年七月

大西安太郎
氏子中

楠木正成
胴鎧に菊水紋が描かれている。
絵馬彩色は、本殿彩色と同じウルトラマリンブルー・プルシアンブルー・エメラルドグリーンといった舶来顔料が使われている

国宝観心寺金堂

嫡男・楠木正行

当郷 氏子中
（加賀田村の氏子が奉納と記す）

観心寺中院（現山門を入ると左手）は楠木一族の菩提寺で、正成 8～15 歳の学問所であった

重要文化財建掛塔
三重塔の完成形が描かれている